NEC

Express5800シリーズ ESMPRO®/AC Advance Ver3.3

UL1046-006

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Advance Ver3.3をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。 ESMPRO/AC Advance Ver3.3をお使いになる前に、必ずお読みください。

Windows[®] Server 2003、Windows[®] 2000、Windows NI[®]、Microsoft[®] は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 ESMPRO[®]は日本電気株式会社の登録商標です。

目次

第1章	製品內容4
第2章	セットアップの準備
2. 1 2. 2	ESMPRO/AC Advanceのセットアップ環境
第3章	セットアップの方法
3. 1 3. 2 3. 3	ESMPRO/AC Advance (サーバモジュール) のインストール
第4章	AMC機能17
第4章 4.1 4.2	AMC機能 17 AMC機能を使用するためのセットアップ 17 マルチサー/構成の運用例 22
第4章 4.1 4.2 第5章	AMC機能 17 AMC機能を使用するためのセットアップ 17 マルチサー/構成の運用例 22 障害発生時には 25
第4章 4.1 4.2 第5章 5.1	AMC機能
第4章 4.1 4.2 第5章 5.1 第6章	AMC機能 17 AMC機能を使用するためのセットアップ 17 マルチサーン構成の運用例 22 障害発生時ごは 25 マルチサーン構成でのログ採取方法 26 注意事項 30

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Advance Ver3.3のパッケージの内容は、次の通りです。 まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

1枚

- •KeyFD
- ・ソフトウェアのご使用条件 1部
- ・お客様登録カード 1部
- ・セットアップカード (本書)

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance はESMPRO/AutomaticRunningController のオプション製品です。ESMPRO/AC Advance をご使用に なるためには、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3 も併せてセットアップが必要です。

2.1 ESMPRO/AC Advance のセットアップ環境

ESMPRO/AC Advanceをセットアップするためには、次の環境が必要です。

```
①ハードウェア
```

<サーバ>	
• 対象機種	:Express5800シリーズ
・メモリ	: 2. 5MB以上
	ESMPRO/AutomaticRunningController
	と合計すると 5.0MB以上
・固定ディスクの空き容量	: 3. 0MB以上
	ESMPRO/AutomaticRunningController
	と合計すると 9.0MB以上
・HW/BIOS機能(*)	:制御端末のリモート起動、リモートシャットダウンを利用する
	場合は、
	WOL (WakeOnLAN)機能を実装しているサーバ
	OSのシャットダウンで、電源OFFが可能なサーバ

(*)

サーバ本体TWが提供する機能を利用する為、機種によっては機能が提供されていない場合があります。

例えば、BIOS設定項目でWakeOnLAN機能を有効にしたサーバであっても、Windows2000等 ACPIサポートOSでのシャットダウン状態からの「WakeOnLANによるサーバ速動機能」は「 HW的に無効な仕様」の機種があります。 Express5800/110Ef、120Ee、120Rd-2等がこれに該当します。 これらの環境は、リモート起動を含め、自動運転の起動機能は実現できません。 また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFFされない

サーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。 この場合には、その後の自動起動も出来ません。 これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存する為、導入の際こは、予め使用する サーバ本体WおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合もあります。)

<クライアント>

・対象機種

・メモリ
 : 2.5MB以上

- ・固定ディスクの空き容量 : 3.0MB以上
- ② ソフトウェア
 - <サーバ>
 - $\cdot \operatorname{Microsoft}^{\circledast} \operatorname{Windows} \operatorname{NT}^{\circledast} 4.0$ Server/Workstation
 - $\cdot \operatorname{Windows}^{\mathbb{R}}$ 2000 Advanced Server/Server/Professional
 - Windows[®] XP Professional
 - ・Windows Server 2003 (ESS RL2003/06より対応)
 - ・Windows Server 2003 R2 (ESS RL2003/06より対応)
 - ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3

<クライアント>

- ${\scriptstyle \bullet} {\rm Microsoft}^{\scriptstyle {\rm I\!\!R}}$ Windows ${\rm NT}^{\scriptstyle {\rm I\!\!R}}$ 4.0 Server/Workstation
- $\cdot \operatorname{Windows}^{\mathbb{R}}$ 2000 Advanced Server/Server/Professional
- ・Windows[®] 98/Millennium Edition(Microsoft Internet Explorer Ver5.5以上)

: PC98-Nシリーズ、PC-AT互換機

- ${\scriptstyle \bullet \text{Windows}}^{\scriptstyle (\!\!\!R\!)}$ XP Professional/Home Edition
- ・Windows Server 2003 (ESS RL2003/06より対応)
- ・Windows Server 2003 R2 (ESS RL2003/06より対応)
- *AMC (AC Management Console)機能によりマルチサーバ構成で制御される連動端末 (非制御 端末) には、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがセットアップされている必要があ ります。

2.2 ESMPRO/AC Advanceの構成例



第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPRO/AC Advance (サーバモジュール) のインストール

- (1) 『Express Server Startup OD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#1 と書かれた OD-ROM が複数あるときは、CD-ROMに格納されている PPLIST. TXT を参照して、本製品が収録されている CD-ROMを特定してください。
 (RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #1 (1/3)」に収録されています。)
- (2) Express Server Startupを起動します。
 (起動手順こついては次のセットアップカードを参照してください)
 Express 5800シリーズ Express Server Startup (Windows[®] 2000版)
- (3)「ESMPRO/AC Advance」セットアップまでの手順
 ① 一括インストールの場合:
 - ★ ESMPRO/AC Advance Ver3.3は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3がインストールされたサー バ上でのみ動作します。ESMPRO/AC Advance Ver3.3を一括でインストールする場合は、 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3をインストールするソフトウェアに追加してください。

[Express Server Startup]から、【インストール】- 【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

一括インストール	×
インストールするソフトウェアを選択して下さい 製品名	
DBリンクキット for Oracle DBリンクキット for SQL Server	
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	
バージョン/ユーザセット数(UL型番) バージョン3.3 1セット(UL1046-006)	
	OK
インストールするソフトウェア	

- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックしてください。
- c) b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「 ESMPRO/AC Advance/ ジョン3.3 1セット(UL1046-006)」が表示されます。

- d) ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んでください。
- e) インストール先ドライブ名(ESMPRO/AutomaticRunningController製品群をインストールするドライブ名)
 KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力をして頂きます。
 (詳細こついては次のセットアップカードを参照してください)
 ・Express 5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

すべての設定が完了すると、「インストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促すメッセージが順次表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタンを選んで ください。 インストールを開始します。 → (4) へ進みます。

② 個別インストールの場合:

★ ESMPRO/AC Advance Ver3.3は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3がインストールされたサー バ上でのみ動作します。ESMPRO/AC Advance Ver3.3を個別でインストールする場合は、 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3をあらかじめインストールしておいてください。

[Express Server Startup]から、【インストール】-【個別インストール】を選択すると、KeyFDをセットしたドライブ名の入力要求がありますので、KeyFDをセットしたドライブ名を入力し、「OK」ボタンを選んでください。 次のダイアログボックスが表示されます。

個別インストール	×
インストールするソフトウェアを選択して下さい 製品名	
ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション FSMPRO/AC Blade マルチサーバオプション (Windows(R)2000版) ▼	
バージョン/ユーザセット数(UL型番) バージョン3.3 1セット(UL1046-006)	
インストールするソフトウェア	<mark>€</mark> K

- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックします。
- c) b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「 ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット(UL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んでください。
- e)氏名/会社名の入力の画面が表示されますので、入力して「OK」ボタンを選んでください。
 信¥細こついては次のセットアップカードを参照してください)
 ・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

f) ESMPRO/AC Advanceのセットアップダイアログボックスが表示されるので、「続行」ボタンを 選びます。

「セットアップは完了しました。」とメッセージが表示されると、セットアップは終了です。 「OK」ボタンを押してください。

(4) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップの終了状態表示

セットアップが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

① ESMPRO/AC Advance Ver3.3だけを一括インストール または個別インストールした場合:

個別インストールを行った場合は、ウィンドウタイトルが「個別インストール」になります。

一括インストール	\times
インストール結果	
正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Advance バージョン3.3 (UL1046-006)	
異常終了したソフトウェア→	
<u>ek</u>	

② ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3、ESMPRO/AC Advance Ver3.3を一括インストールした 場合:

一括インストール	\times	
インストール結果		
_ 正常終了したソフトウェア一覧		
0000 : ESMPRO/AC Advance バージョン3.3 (UL1046-006) 0000 : ESMPRO/AutomaticRunningController バージョン3.3 (UL104)		
異常終了したソフトウェア一覧		
<u>CK</u>		

注意

セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセン>ボタンを選ぶと、セットアップを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで、<0K>ボタンを選ぶと、セットアップを中止できます。その場合、途中までセットアップされたファイルの削除は行われません。

(5) [Express Server Startup] を終了させ、システムを再起動します。

3. 2 ESMPRO/AC Advance (クライアントモジュール)のインストール

- (1) 『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #2』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#2 と書かれた CD-ROM が複数あるときは、CD-ROMに格納されている PPLIST. TXT を参照して本製品が収録されている CD-ROMを特定してください。
 (RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #2 (2/3)」に収録されています。)
- (2) Express Server Startupを起動します。
 (起動手順こついては次のセットアップカードを参照してください)
 Express 5800シリーズ Express Server Startup (Windows[®] 2000版)
- (3) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップまでの手順
 - 一括インストールの場合:
 [Express Server Startup]から、【インストール】-【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

一括インストール	×
インストールするソフトウェアを選択して下さい 製品名	
ESMPRO/AC Advance ESMPRO/ACBlade 管理オプション(Windows(R)2000版) ESMPRO/AlertManager	
ESMPRO/AutomaticRunningController	
バージョン/ユーリビジャ級(UL1046-006)	
インフトニルオるソフトウェア	<u>ok</u>

- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックしてください。
- c) b)の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット(UL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んでください。
- e) インストール先ドライブ名、KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力をして 頂きます。
 - (詳細については次のセットアップカードを参照してください)
 - ・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

すべての設定が完了すると、「インストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促すメッセージが順次表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタンを選んでください。

セットアップを開始します。 \rightarrow (4) へ進みます。

② 個別インストールの場合:

[Express Server Startup]から、【インストール】-【個別インストール】を選択すると、KeyFDをセットしたドライブ名の入力要求がありますので、KeyFDをセットしたドライブ名を入力し、「OK」ボタンを選んでください。 次のダイアログボックスが表示されます。

個別インストール	×
インストールするソフトウェアを選択して下さい 製品名	
ESMPRO/AC Advance ESMPRO/ACBlade 管理オプション(Windows(R)2000版) ESMPRO/AlertManager	
ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/Netvisor HUB管理	
バージョン/ユーザセット数(UL型番) バージョン3.3(UL1046-006)	
	OK
インストールするソフトウェア	

- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックします。
- c) b)の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット(UL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んでください。
- e)氏名/会社名の入力の画面が表示されますので、入力して「OK」ボタンを選んでください。 信料冊については次のセットアップカードを参照してください) ・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)
- f) ESMPRO/AC Advanceのセットアップダイアログボックスが表示されるので、「続行」ボタンを 押します。
- g)ファイルをコピーするディレクトリの指定を行います。ディレクトリを指定して「続行」を押します。
- h) ディレクトリの確認ダイアログボックスが表示されたら「続行」を押します。

インストールが開始されます。

「セットアップは完了しました」とメッセージ表示されるとセットアップは終了です。 \rightarrow (4) へ進みます。 (4) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップの終了状態表示

セットアップが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

個別インストールを行った場合は、ウィンドウタイトルが「個別インストール」になります。

一括インストール	×
インストール結果	
正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Advance バージョン3.3 (UL1046-006)	
異常終了したソフトワェ <i>ア一</i> 覧	
OK	

注意

セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセン>ボタンを選ぶと、セットアップを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで、<0K>ボタンを選ぶと、セットアップを中止できます。その場合、途中までセットアップされたファイルの削除す行われません。

(5) [Express Server Startup] を終了させ、システムを再起動します。

3.3 ESMPRO/AC Advance のアンインストール

ESMPRO/AC Advanceの削除が必要な場合、以下の手順でアンインストールします。

(1) ESMPRO/AC Advance(サーバモジュール)のアンインストールでは、『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。
 (RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #1(1/3)」に 収録されています。)

ESMPRO/AC Advance (クライアントモジュール)のアンインストールの場合は、『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #2』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。 (RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #2(2/3)」に 収録されています。)

- (2) Express Server Startupを起動します。
 (起動手順こついては次のセットアップカードを参照してください)
 Express Server Startup (Windows[®] 2000版)
- (3)「ESMPRO/AC Advance」アンインストールまでの手順
 [Express Server Startup]から、【アンインストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

シインストール	×
アンインストールするソフトウェアを選択して下さい 製品名	
ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AutomaticRunningController	
バージョン/フーザセット数 (ロロ型番)	
バージョン3.3 1セット(UL1046-006)	
アンインストールするソフトウェア	<mark>€K</mark>
	Cancel
	×

- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のユーザセット数/バージョンが「バージョン/ユーザセット数」に表示されます。「バージョン3.3(UL1046-006))をダブルクリックしてください。
- c) b)の選択が終わりますと、「アンインストールするソフトウェア」に「 ESMPRO/AC Advance 1 セット (IL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了しましたら、「OK」ボタンを選んでください。

以降、KeyFDをセットしたドライブ名の入力をして頂きます。 (詳細こついては次のセットアップカードを参照してください) ・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

すべての設定が完了すると、「アンインストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促す

メッセージが表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタン を選んでください。 アンインストールが開始されます。

- (4) 「アンインストールは完了しました。」とメッセージが表示されますので「OK」を押します。
- (5) 「ESMPRO/AC Advance」 アンインストールの終了状態表示

アンインストールが正常終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

マンインフトール	X
	124
アフィフストール結果	
正常終了したソフトウェア一覧	
0000 : ESMPRO/AC Advance バージョン3.3 (UL1046-006)	
異常終了したソフトウェア一覧	
OK	

(6) Express Server Startup を終了してください。

第4章 AMC機能

ESMPRO/AC Advance では、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされたサーバの統合管理を実現させるため、AMC (AC Management Console)機能を搭載しています。

4.1 AMC機能を使用するためのセットアップ

[スタート]ー[ESMPRO_AutomaticRunningController]から「ESMPRO_AC 環寛設定ウィザード」を起動し、「環寛設定ウィザ ード」を選択します。

図 ESMPRO/AC 環境ウォザード	
	マルチサーバ構成の設定 (AMCの起動) ▼
ESMPROV tomaticRunningController ESMPRO/U Controller PowerChute Us	: Ver3.30がインストールされています。 : インストールされていません。 : インストールされていません。
SmartUPS	
未使用 ま使用 使用	ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/UPSController PowerChute plus
環境設定ウィザード STEP1 どのようにして、自動運転	を行うか選択して下さい。
© ESMPRO/UPSCont	rollerと連携して自動運転を行う
ර PowerChutePlusと	直携して自動運転を行う
● UPSを使用せずに自	目動力運車支を行う
	(戻る(日) 次へ(N)) キャンセル

"UPSを使用せずに自動運転を行う"を選択し、「次へ(N)>」ボタンを押します。

環境設定ウィザード STEP3		
UPSを使用せずに自動運転を行う		
	< 戻る(B) 売了	キャンセル

「完了」ボタンを選択すると、以下のようなメッセージが表示されます。



「はい(Y)」を選択すると、AMCの起動を確認するダイアログが表示されます。

ESMPRO/AutomaticRunningController 🛛 🔀				
?	本サーバの環境設定情報が、正常に更新されました。			
Ý	続けて AC Advance によるマルチサーバ環境の 設定(AMC)を起動しますか?			
	<u>(สเซา)</u> เนวณ			

AMCを起動します。

「編集」メニューから「電源制御グループ作成」を選択し、グループ名を入力します。



作成したグループ配下のアイコンをクリックすると、グループポリシーの入力画面が表示されますので、

制御端末が複数台のときは制御端末に届くローカルブロードキャストアドレスを、制御端末が1台のみのときは ESMPRO/AC Advance をインストールした制御端末のIP address を入力します。

グループポリシー	E
この電源系統の共通管理情報を登録・編集します 名称 制御端末グループ 説明	
通信用認識コード (15文字までのユニークはコード) 通信用 IP address [172.16.1.184 制御端末に届く 「ローカルブロードキャストアドレス」か、 「制御端末の IP address」(制御が1台の場合のみ) を登録してください 統計情報採取間隔 1 分	SNMP コミュニティ名 public SNMP通信異常確認時間 50 Sec 何電中のSNMP通信異常で 持続されたサーバの制御 J:そのまま運用 1: shutdown

次に、ツリー上の「制御端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選択します。

💦 AC Management Console - ESMPRO/	C Enterprise			_ 🗆 🗵
ファイル(E) <mark>編集(E)</mark> 操作(S) 表示(V)	∧μフ°(<u>H</u>)			
□ 00 net □ 00 net □ 00 net □ 00 net	號 IP add	dress 【脱B	明	態
 新規装置登録 登録:情報編集 登録:情報編集 登録:情報開]除 				
□				

「制御端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、制御端末(サーバ)の情報を入力します。

制御端末をリモート起動する場合は、Advance option mode にチェックを入れ、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。MAC address は、コマンドプロンプトから "ipconfig /all" と入力し、出力結果に表示されている Physical Address を入力します。

リモート起動用 MAC address には WOL 機能が有効な LAN ポートの MAC address を入力します。

この操作を繰り返すことにより、複数の制御端末(サーバ)を登録することができます。

制御端末(サーバ)	×
・ ESMPRO/AC EnterpriseかAC Advance 電源管理制御が行えるサーバの登録・編 名称 ADVANCE (コン	option をセットアップし、 二集を行います タ名: 15文字まで)
IP address 172.16.1.184 説明 ARC+Advance	(例: 172.16.1.10)
✓ Advance option mode リモート起動用 MAC address リモート起動用 IP address リモート起動用 ネットマスク	00-A0-C9-D3-99-01 172.16.1.184 255.255.255.0

次に、ツリー上の「連動端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選択します。

AC Mar	nagement Console - E	SMPRO/AC Enterpris	e		_ 🗆 ×
7711(E)	編集(E) 操作(S) :	表示(⊻) ヘルプ(出)			
Essential States State	電源制御グループオ 連動装置のグループ	¹⁰⁰ ロシー登録 ブ追加	IP address	説明	状態
	 新規装置登録 登録情報編集 登録情報削除 	k			
	₩ <mark>2唑ໜ氚末</mark> ₩2 連動装置				
		•			<u> </u>

「連動端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた連動端末(サーバ)の情報を入力します。

Advance option mode にチェックを入れ、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動 用 ネットマスクを入力します。連動端末の MAC address は、連動端末にてコマンドプロンプトから"ipconfig /all" と入力し、出力結果に表示されている Physical Address を入力します。

リモート起動用 MAC address には WOL 機能が有効な LAN ポートの MAC address を入力します。

この操作を繰り返すことにより、複数の連動端末(サーバ)を登録することができます。

連動端末(サーバ)	×
「ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバ 「ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプ 「ESMPRO/AC Advance マルチサーバス セットアップしたサーバを登録します。	「オプション」か、 OK ション」、 オプション」を、 キャンセル
名称 MULTII (コンI	ビュータ名: 15文字まで〉
▶ コンピュータ名を大文	字に自動変換する。(Linuxの場合は無効)
IP address 172.16.1.118	(例: 172.16.1.10)
説明 Advance マルチサーバオ:	プショ 🗖 Linux
-	
Advance option mode	
リモート起動用 MAC address	00-20-18-58-AA-F8
リモート起動用 IP address	172.16.1.118
リモート起動用 ネットマスク	255.255.255.0

4.2 マルチサーバ構成の運用例

AMCでは、制御端末にESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ、連動端末にESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた端末を登録します。

(1) 制御端末1台、連動端末1台の場合





自動運転サーバ:連動端末

(2) 制御端末1台、連動端末2台の場合

🔉 AC Management Console - ESMPRO/AC Enterprise				
) ^ルブ(<u>H</u>)			
🖬 🖀 🎒 🏉 🖗 🌮 😏	8			
⊡- <mark></mark> R network	名称	IP address	説明	状態
□ 🔐 制御端末グループ	1211制御端末グループ	172.16.1.255		
■ 制御端末グループ	ADVANCE1	172.16.1.184	ARC+Advance	マスタ動作中
	📒 MULTII	172.16.1.118	Advance マルチ	通常運用中
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	MULTT2	172.16.1.177	Advance マルチ	通常運用中
四· MOLTZ				
			_	
				<u>`</u>
ปรัง				



ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション

(3) 制御端末2台、連動端末2台の場合

💫 AC Management Console - ESMPRO/AC Enterprise 📃 🗖 🗙				
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表示(V) ^ルプ(<u>H</u>)			
🖬 🕄 🖉 🖉 🖉 🖓 🔧	?			
⊡- <mark></mark>	名称	IP address	説明	状態
□ 🔐 制御端末グループ	🗐 制御端末グループ	172.16.1.255		
■ 制御端末グループ	ADVANCE1	172.16.1.184	ARC+Advance	マスタ動作中
	ADVANCE2	172.16.1.123	ARC+Advance	通常運用中
□ 🔐 制御端末	MULTT1	172.16.1.118	Advance マルチ	通常運用中
ADVANCE1	MULTI2	172.16.1.177	Advance マルチ	通常運用中
	[-			
Dig Alterization				
	•			•
ν τ °r				



自動重転サーバ:連動端末

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション

第5章 障害発生時には

障害発生時ごは、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ・ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- ・イベントログ
- ・バージョン情報

(以上の採取方法につきましては、「ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップカード」をご参照 ください。)

5.1 マルチサーバ構成でのログ採取方法



システムの構成が、マルチサーハ構成の場合、次のような方法でログを採取してください。

例えば、上図のようなマルチサーバ構成の場合、

(1)制御端末

すべての制御端末(この例の場合、制御端末A、制御端末Bの両方)でESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照して必要なログを採取してください。また、その他に下記ログの採取もお願いいたします。

ESMPRO/AutomaticRunningController インストールフォルダ下の"Data"フォルダ下の ac_e_net.ini, ac_e_net.apc, ac_e_net_d.apc

(2) 連動端末 (Windows サーバ)

制御端末および、管理GUIのインストールされているコンピュータのESMPRO/AutomaticRunningController GUIを使用し、 下記手順で、連動端末A、B、Cそれぞれのログを採取してください。

例えば、制御端末Aから連動端末Aのログを採取する場合

①制御端末の ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ指定ダイアログが表示されます。



②サーハ指定ダイアログのサーハ洛のところに、連動端末Aのサーハ洛を入力し、OK ボタンを選択して、連動端末Aに接続します。

例えば、連動端末のサーノ洛が、MULTI2の場合、上記サーノ指定で

MULTI2

と入力します。接続しましたら下記のように表示されます。

ESMPRO/AutomaticRunningController 運転()) 設定(S) ヘルフ ^o (L)	
[サーバ(<u>S</u>) 自動運転 : 停止 開始 → UPS	
ダーパ名 1 MULT12 自動運転の状態 実行中 自動運転装置 マルガラーパオフ°ション(タモート制御) サービネの状態 正常運転(Version 3.30_m) 投入監視専因 ジリ防監視時刻 切防監視時刻 ジャン ジロの切断監視時刻 ジャン ジアの切断監視時刻 ジャン ジア、回の切断監視時刻 ジャン ジャン ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	運動端末サーバ名
OK ትቀንጀቆ ያቀታትጅ [*] ሳን (<u>D</u>) ሳቆን [°] (<u>H</u>)	

③もう一度、サーバボタンを選択し、サーバ指定ダイアログを表示させます。

サーバ	指定	×
		7
	サーバ名 ESM/PC MAINTE ▼	
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起動する	
	OK ችኑንቲቡ ^ቡን°(<u>H</u>)	

④サーノ指定ダイアログのサーノ洛のところに、

ESM/PC MAINTE

と入力し、OKボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。

メンテ	ナンス	×
	ログ情報採取	<u>₽ヴセーブ開始(2)</u>
	OK	[

× 寺避

⑤ "ログセーブ開始" ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が終了すると、以下のダイアログが表示 されます。

ログ採取正常終了メッセージ

ESMPRO/AutomaticRunningController
すべてのログ情報を C¥AUTORC¥DATA¥LOG ディレクトリに セーブしました。
ログ採取正常終了のメッセージです。 ⑥の作業を実行してください。
ログ採取異常終了メッセージ
ESMPRO/AutomaticRunningController
C¥AUTORC¥DATA¥LOG ディレクトリにログ情報ファイルが存在しています。すべてのログ情報ファイルを してから再度実行して下さい。

上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられ ます。ログ採取に失敗した連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストール ディレクトリ下の DATA¥LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退避するか削 除して、操作をやり直してください。

6制御端末のエクスプローラを実行して、ログ情報を採取してください。



UL1046-006 856-122681-014-A ※LOG フォルダ下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって異なります。通常は1MB以内で すが、スケジュールの設定等によって異なります。

(スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが大きくなります。)

Readme: サービスおよびGUIの動作不良のため、上記操作でのログ採取できない場合は、以下の方法で採取をお願いいたします。

①エクスプローラ等を使用してください。

②連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥data ディレクトリ下のすべてのファイルを採 取してください。

※ネットワークが不調な場合などは、連動端末のエクスプローラを使用して直接采取することもできます。

第6章 注意事項

6.1 セットアップ関連

ESS RL2002/12 版の ESMPRO/AC Advance Ver3.3 は、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 との共存環境はサポートしておりません (ESS RL2003/03 版以降にサポート予定)。

ESMPRO/AC Enterprise Ver3.3 をインストールしている環境に ESS RL2002/12版の ESMPRO/AC Advance Ver3.3 をインストールしてしまった場合は、ESMPRO/AC Enterprise のアンインストールを行ったあと、ESMPRO/AC Advance Ver3.3 の上書 きインストールを行ってください。

また、ESMPRO/AC Enterprise の環境にする場合は、ESMPRO/AC Advance Ver3.3 のアンインストール後、ESMPRO/AC Enterprise の上書きインストールを行ってください。

6.2 運用時における注意

ESMPRO/AC Advance をインストールした環境でスケジュール運転を行う場合、制御端末自身へは電源 ON 制 御が必要となる停止期間を持つスケジュール設定(電源 OFF から ON までの間隔が 2 分間以上空いている設 定)は行わないでください。

これは、制御端末が自サーバの 0N 制御を行うことができないためです。ただし、電源 0N 制御が必要でな いリブートを行うスケジュール設定(電源 0FF から 0N までの時間が 1 分間に設定)は可能です。制御端末 のリブートに掛かる時間中は連動端末に対する電源制御が行えませんので、制御端末のリブート時刻と連動 端末の 0N/0FF 時刻が重複しないように設定してください。

その他の連動端末に対しては各サーバで独立したスケジュールで運用可能です。

